

総合医学会報告

シンポジウム 2：臨床検査におけるクオリティマネジメント

第58回国立病院療養所総合医学会
(平成15年10月31日-11月1日 於 札幌)

座長 古田 耕 上原信夫*

座長の要約

種々の分野での精度管理について議論し、臨床検査技師の存在感、今後の展望および提案を示す。

Take Home Messages：

Session 1：福谷俊二氏

1. ISO15189 は臨床検査に関するすべての業務プロセスのマネジメントをとりあつかう。
2. ISO15189 の要求事項に対する取り組みは臨床検査室にさまざまな効果をもたらし、結果的に患者の基本的権利が守られるだけでなく、医療全体の質の向上に貢献する。

Session 2：川口祐二氏

3. 全国規模の検査データ共有化（標準化作業）は地域単位標準化事業との整合性ならびに融和性が不可欠であり、参加施設の積極的協力が必要である。
4. 標準化維持サーベイ（精密さと正確さの同時管理と低コスト）実施とネットワーク有効利用による全国的フォロー管理体制（標準化推進委員会等）の確立が重要である。

Session 3：江角 誠氏

5. T. W. 2003検討委員会より国立病院、療養所で共有可能な推奨基準範囲19項目、参考基準範囲10項目が提示された。
6. 測定法、基準範囲の変更は検査科単独では実行不可能であり、臨床側との調整が必要である。
7. 今後、早期の精度管理法の確立と、測定法、基準範囲変更のマニュアル作成が必要である。

Session 4：志保裕行氏

8. 検査データの質的保証を高めるためには、担当者の臨床検査医学的な視点での判断等が必要不可欠となる。
9. 分析結果には精度保証という付加価値をつけることが重要である。

Session 5：久田正直氏

10. 高齢化社会の到来は輸血用製剤の使用量は増大する。一方、少子化は献血量の減少を招き血液不足が予測される。
11. 輸血業務に係る技師は、輸血医療への coordinator であらねばならない。

Session 6：田中美智男氏

12. 細菌検査室におけるクオリティマネジメントには、検査技術の熟達、検査法の標準化、内部精度管理の実施および外部精度アセスメントの実践および院内感染対策への貢献が重要である。

国立がんセンター中央病院 National Cancer Center Hospital 臨床検査部

*国立埼玉病院（現：国立病院機構埼玉病院）Saitama National Hospital 臨床検査技師長

Address for reprints: Koh Furuta, Department of Clinical Chemistry & Laboratory Medicine, National Cancer Center Hospital, 5-1-1, Tsukiji, Chuo-ku Tokyo 104-0045 JAPAN

Received January 29, 2004

Accepted September 17, 2004

Session 7: 一戸真由美氏

13. 感染管理において細菌検査室の役割は大きい。
14. 検査データを臨床現場で有効に活用するためには、医療従事者1人1人が正しい知識と技術を持ち、チームとして協働していくことが最も大切である。

Perspective :

分野は異なるものの発表を伺ってみると精度管理、標準化、共有化が共通概念としてとりあげられていることに気付かされた。さらに1つ付け加えれば、各分野での専門性の裏付けのもとで、各自が論旨を展開されていた点が印象に残った。今後は、精度管理、標準化、共有化を追求するだけでなく、個々の分野での専門性を高め、さらに経験と知識の継承という意味での教育という点にも配慮が必要だろう。臨床検査へのこのような地道な取り組みこそが良質なデータの提供を可能にし、いわゆる臨床検査におけるクオリティマネジメントになるのではないだろうか。

(キーワード: 精度管理, 標準化, 共有化, 専門化)

SYMPOSIUM 2: QUALITY MANAGEMENT IN THE CLINICAL LABORATORY

Chairpersons: Koh FURUTA and Nobuo UEHARA *

The goal of the symposium was to update current quality management aspects in the various Clinical Laboratory fields and also to indicate the future concerns of medical technologists.

At the symposium, four technologists from the clinical chemistry laboratory introduced several updates such as ISO15189, standardization, TW2003, and improved statistical methodologies. One transfusion laboratory technologist explained the future trend of transfusion and emphasized that technologists should be coordinators in transfusion procedures. A bacteriology laboratory technologist emphasized the importance of participation in the infection control program. A qualified infection control nurse emphasized the importance of the bacteriology laboratory and encouraged hospital people to share the laboratory's data, especially infection-related information.

The presentations made by the six expert technologists and one expert nurse had such concepts in common as quality management, standardization, and sharing of data and methodologies. In addition, their presentations were strongly supported by their professionalism. These daily efforts in the laboratories give excellent evidence of the bright future for medical technologists.

(Key Words: quality management, standardization, sharing of data and methodologies, professionalism)

(平成16年1月29日受付)

(平成16年9月17日受理)